

## 癌化学療法輸液約束処方 呼 40

癌種 非小細胞肺癌 (Stage III B/IV)  
 レジメン名 呼40 ATEZO

周術期投与期間要注意

薬品名 (商品名)	一般名	略号	標準投与量	投与経路	投与時間	投与日	1クール期間
テセントリク	アテゾリズマブ	ATEZO	1200mg/body	div	1コース目:60分 2コース目以降:30分	DAY 1	21日

### [ DAY 1 ]

- ① NS 100ml / 15分
- ② NS 250ml + テセントリク          mg / 1コース目60分 2コース目以降30分 (インラインフィルター使用)
- ③ NS 100ml / 10分

### 【注意事項】

- ・プラチナ製剤を含む術後補助化学療法を行ったPD-L1陽性症例に対しては、投与12カ月まで
- ・2次治療において、PD-L1の発現の有無にかかわらず適応可能
- ・投与の際にはインラインフィルターを使用すること。
- ・投与開始前及び投与中にTSH、FT3、FT4などを定期的に測定。
- ・有害事象に対し副腎皮質ステロイドを投与する際に、HBVの再活性化に注意。

### <休薬規定>

- ・非血液毒性  $\geq$  Grade3
- ・自己免疫疾患の発症
- ・間質性肺炎: G2  $\rightarrow$  休薬、 $\geq$  G3  $\rightarrow$  投与中止
- ・大腸炎、下痢: G2/3  $\rightarrow$  休薬 (G1  $\rightarrow$  再開)、G4  $\rightarrow$  投与中止
- ・肝機能障害: G2  $\rightarrow$  休薬 (ベースラインまで改善  $\rightarrow$  再開)、 $\geq$  G3  $\rightarrow$  投与中止
- ・内分泌障害、副腎クリーゼ: 投与延期または中止
- ・神経毒性: G2  $\rightarrow$  投与延期 (ベースラインに改善  $\rightarrow$  再開)、 $\geq$  G3  $\rightarrow$  投与中止
- ・皮膚毒性:  $\geq$  G3  $\rightarrow$  休薬 (G1  $\rightarrow$  再開)、 $\geq$  G2  $\rightarrow$  皮膚科医へ紹介
- ・1型糖尿病、脳炎、静脈血栓症: 専門医と連携し投与中止も検討

R3.2.8改訂  
 R4.8.10改訂